

平成29年度(2017年度)

管理事業名	シティプロモーション事業				総合計画の体系	第7章 第1節	活力あふれにぎわいのあるまち 地域の特性を生かした産業の振興			
主な歳出 予算科目	会計	(款)	7	商工費	(項)	1	商工費	(目)	2	商工振興費
部局名	都市魅力部	予算執行所属			シティプロモーション推進室					
予算大事業名 商工業振興事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)総務費 (項)総務管理費 (目)シティプロモーション費 一般事務事業、シティプロモーション事業、「地方の時代」映像祭支援事業、大学のあるまちづくり事業									
事業の目的と概要 全国的に人口減少・少子高齢化が進む中で、本市が持続的に発展するために、本市が持つ魅力を積極的に発掘・発信し、市民にとって「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった市への愛着や誇りが醸成される取組を実施します。 主な事業内容は次のとおりです。 ・シティプロモーション事業(市民にとって市への愛着や誇りが醸成される取組を実施します。) ・「地方の時代」映像祭支援事業(本市で開催される全国規模で唯一のドキュメンタリー映像祭典を支援します。) ・吹田まつり補助事業(市民相互の交流や親睦を図ることを目的とした、市民主体による吹田まつりへの補助を実施します。) ・観光企画推進事業(地域経済の活性化を目的として、地域の特性を生かした観光施策を実施します。) ・情報発信プラザ事業(市の情報発信施設「吹田市情報発信プラザ(Infoestすいた)」の管理運営を行います。)										

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
吹田まつり協賛、協力団体数	件 (延べ)	471	463	535	吹田まつりへの協賛、協力団体数(目標件数:前年度以上)
SNSによる情報発信回数	回		255	182	すいたんSNS(ツイッター・フェイスブック)発信回数 目標件数:市役所閉庁日を除く毎日発信
成果の説明	平成29年度に吹田まつりのプログラムを従来のリーフレット形式から冊子へ変更したことにより、大幅に協賛団体を増加することができました。吹田市イメージキャラクターすいたんがツイッターやフェイスブックのSNSを通じて市の魅力やイベント告知など様々な情報を発信していますが、平成29年度は目標としている毎日発信の件数に至りませんでしたので、引き続き積極的な情報発信に努める必要があります。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	290	553	2,483	1,929
経常収入 小計(a)	290	553	2,483	1,929
給与関係費	32,015	69,933	75,750	5,817
物件費	40,516	29,037	28,450	△587
維持補修費	-	120	-	△120
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	12,314	15,039	15,018	△21
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	947	1,032	1,032	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,126	4,944	5,639	695
退職手当引当金繰入額	6,707	34,962	11,187	△23,776
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	94,626	155,067	137,076	△17,991
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△94,336	△154,514	△134,593	19,920
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△94,336	△154,514	△134,593	19,920
一般財源充当額	99,615	120,957	127,741	6,784
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	5,280	△33,557	△6,852	26,705

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	職員人件費、非常勤職員報酬 ほか 職員1名増員による5,817千円の増
物件費	観光企画推進事業委託業務 7,370千円 情報発信プラザ運営業務 10,605千円 情報発信プラザ賃料 5,702千円 ほか
負担金・補助金・交付金等	歴史街道推進協議会加入負担金 100千円 「地方の時代」映像祭分担金 1,000千円 まち案内事業補助金 263千円 吹田まつり補助事業 12,600千円 情報発信プラザ施設管理負担金 918千円 ほか

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	290	553	2,483	1,929
行政サービス活動支出	89,583	121,510	130,224	8,714
行政サービス活動収支差額	△89,293	△120,957	△127,741	△6,784
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	10,322	-	-	-
投資活動収支差額	△10,322	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額合計	△99,615	△120,957	△127,741	△6,784
一般財源充当額	99,615	120,957	127,741	6,784
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	特徴的な事項
行政サービス活動収入の増額については、すいたんマスコットやオリジナル年賀はがき等のシティプロモーショングッズ販売収入によるものです。	

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
情報発信プラザ (Infoestすいた)来訪者 1人あたりのコスト	平成27年度	200,536 人	229 円	情報発信プラザ(Infoestすいた)来訪者1人あたり62円のコストがかかっています。(経常費用のうち情報発信プラザに関する経費24,689千円を実績で割って算出しています。)平成29年度は太陽の塔の内 部公開と連携したフェアの実施等により大幅に来訪者数を増加することができました。
	平成28年度	255,867 人	88 円	
	平成29年度	395,393 人	62 円	
市民1人あたりのコスト	平成27年度	-	円	市民1人あたり371円のコストがかかっています。 平成30年3月31日現在の吹田市人口で算出しています
	平成28年度	369,522 人	420 円	
	平成29年度	370,072 人	371 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	4,944	5,639	695
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	4,944	5,639	695
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	8,860	7,827	△1,032	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	55,911	61,036	5,125
建物・工作物	8,860	7,827	△1,032	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	55,911	61,036	5,125
無形固定資産	200	200	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	60,855	66,675	5,820
建物・工作物	-	-	-	純資産	△51,795	△58,648	△6,852
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
固定資産	-	-	-	図書館資料	-	-	-
重要物品	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
図書館資料	-	-	-	出資金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
出資金	-	-	-	基金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
基金	-	-	-	その他債権	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	資産の部合計	9,060	8,027	△1,032
その他債権	-	-	-	負債及び純資産の部合計	9,060	8,027	△1,032

Ⅲ 財務構造分析

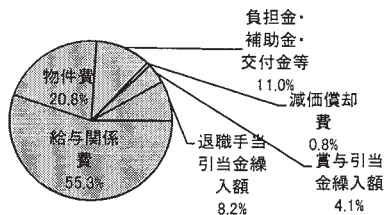
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円) 92,575
	月平均 9人	月平均 1人	年間従事延日数 122日	実人数 9人	
給与関係費等	87,179千円	3,804千円	1,592千円		
内、時間外勤務手当	6,004千円				

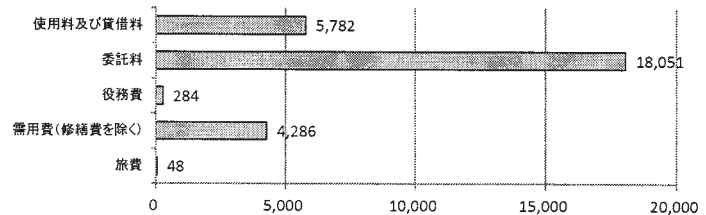
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	情報発信プラザ(Inforestすいた)減価償却による1,032千円の減
無形固定資産	すいたんに係る著作権

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	情報発信プラザ(Inforestすいた)
取得年月日	平成27年(2015年)10月1日
建物・工作物の取得価額	10,322千円
建物・工作物の減価償却累計額	2,494千円
利用料金収入	-千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率	-	1.2	-	△1.2
施設老朽化比率	4.2	14.2	24.2	10.0
受益者負担比率	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	99.7	99.5	98.1	△1.4
経常費用対公共資産比率	916.8	1502.3	1328.0	△174.3

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常収入その他1,929千円の増加につきましては、すいたんマスコットやオリジナル年賀はがき等のシティプロモーショングッズの販売収入によるものです。
 経常費用の主なものにつきましては給与関係費が75,750千円(55.3%)、賞与引当金繰上額5,639千円(4.1%)、退職手当引当金繰上額11,187千円(8.2%)、物件費が28,450千円(20.8%)です。
 給与関係費5,817千円の増加につきましては、シティプロモーション推進室職員の1名増員によるものです。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

シティプロモーション事業はシティプロモーション推進室だけでなく、各室課がそれぞれに持つ特性を生かして、庁内横断的に取り組む必要があります。今後も本市の強みを生かした様々な手法によるシティプロモーションを推進する必要があり、グッズ販売等による財源の確保も積極的に検討していきます。また、情報発信プラザ(Inforestすいた)では万博記念公園や市立吹田サッカースタジアムをはじめとした市内施設との魅力ある連携企画を引き続き実施し、来訪者数の増加に努めていきます。